

## 教育ビジョン推進委員からの主な質問・意見・要望

平成30年5月に開催された第39回新潟市教育ビジョン推進委員会において、推進委員からいただいた主な質問・意見・要望と、それに対する教育委員会の回答は次のとおりです。

(○…教育ビジョン推進委員 ⇒…教育委員会の回答)

### 施策1-(1) 「社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進」

○ 学習支援員研修会は、なぜ希望制なのか。学校によっては、子どもたちと向き合う姿勢についても違う視点があると思うが。

⇒ 昨年度では元教員が20名。塾の講師や学習ボランティア経験者が33名であり、教育に携わった方も多く、希望制で行うこととした。  
(委員からの要望) 子どもと向き合う共通認識とか、必要な視点を学ぶためにも、研修を呼び掛けてほしい。

### 施策1-(3) 「基礎・基本を身に付ける教育の推進」

○ 全国学力・学習状況調査の結果で、中学校が小学校に比べて数値が低いという記載があるが、その対策はあるのか。

⇒ 「新潟市の授業づくり」に基づき、何を学ぶのかを明確にし、また何を学んだのかを子どもたち全員に共有させたり、振り返らせたりするという授業の一つのパターンを取り入れている。中学校は若干その実施率が低い。その推進を図っている。もう一つは、新潟市全体の問題であるが、家庭学習が多くないため、その改善策に着手している。



### 施策1-(5) 「学習習慣の定着」

○ 全国学力学習状況調査の結果を見ると、中学3年生の方が小学校6年生より勉強しないという状況が、以前からずっと続いている。その状況に対して取組はあるのか。また保護者にもしっかりと伝えることが必要ではないか。

⇒ 中学生が少ないのは様々な要因がある。「家庭学習リフレット」を教育委員会で作成し、それに基づいた取組が各校で始まっている。例えば、学校にいるうちに家庭学習のスタートをしたり、家庭で行ってきた学習を学校で確認する等である。また各区ミーティングの際に全国学力・学習状況調査結果を知らせ、家庭学習を含めた課題を伝えている。

### 施策1-(6) 「読書活動の推進と新聞活用の充実」

○ 新聞購読者が減っている中、なぜ「週1回以上新聞を読む中学生の割合が全国平均を上回る」指標を設けているのか。

⇒ NIE(新聞活用教育)を、新潟市も推進し、予算を使って各学校に新聞を配備することを実施しており、その成果を確実に把握する必要があるため。また、子どもたちに読む力をつけるため、学校図書館活用推進事業を実施しているためである。

### ○ 家庭で購読率が減っているという数字とかはあるのか。

(委員による回答) 「書道の時間に新聞を家から持ってきて」との指示に、持ってこれない子どもが大変増えてきている。そのため新聞のある環境をつくる、また授業で新聞を活用することはとても大切である。

### 施策2-(1) 「いのちの教育・心の教育の推進」

○ 教育において家庭の問題は大きいと思うが、「子育て出前学習講座」は全学校の何パーセントで実施できたのか。またどのように講師を派遣し、どのような内容を話しているのか。

⇒ 昨年度、小学校は107校中、101校で実施した。中学校は57校中、21校。就学児健診や新入生学校説明会時などに実施し、学校の希望で講師を紹介している。テーマは「家庭教育の大切さ」。主な内容は基本的な生活習慣として、家庭でのルール、思春期における親の関わりなど。

○ 他者の権利や主張に対して寛容に耳を傾けるという態度の根底には、自分を尊いと思える想いが大切である。この自尊感情を高める働き掛けは、どのような場面で、どのような意識を持って、どのような取組をしているのか。

⇒ 「自分自身には良いところがあると思う」という自尊感情を育む取組は、学校教育の様々な場面でやっている。一人一人の良さを認め、その子の個性を生かしていくことを、授業でも、様々な教育活動の中でも行っている。今回は具体的な事例を挙げて例示したい。

### 施策2-(8) 「青少年の健全育成の推進」

○ 若者支援センター(オール)の活動で、ユースアドバイザーとの関わりが年間6,235回とあるが、どのようなことを行っているのか。

⇒ 引きこもりや課題を抱えている若者との相談を通じて、居場所づくりや社会とのつながりをつくっている。その相談業務等を行っているのが37名のユースアドバイザーであり、若者の来館数である。

○ 高校中退者の未然防止のため、「にいがた若者応援ネット」の活動とはどのようなことか。

⇒ 保護者や高校生、担任教師等との相談の機会を設け、改善のためにアドバイスをを行っている。月1回、明鏡高校で実施している。

### 施策4-(1) 「子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進」

○ 特別支援教育は、配慮を要する子どもたちがたくさんいる中で、これからの教育にとっても必要なことである。研修会の指標は当初から変わらずに1,500人と設定されているが、その設定理由と主な対象者を教えてほしい。

⇒ 特別支援学級担当者を中心に研修を実施している。また合理的配慮セミナーなどは担当者だけでなく、管理職や他の教職員も受けられるようにしている。特別支援教育担当者が増えたことにより参加者も増えているので、指標設定については今後検討が必要と思っている。

### 施策10-(2) 「保護者や地域と連携した安心な学校づくりの推進」

○ 5月の西区における女子児童殺害事件を踏まえて、市民自身が子どもの防犯のために意識を高め、対応しなければならぬことである。指標は100パーセント達成という結果であるが、果たしてそれが実効性のある活動になっているのかという検証が必要であり、今後はその検証を踏まえた指標にすることが必要ではないか。

⇒ この指標については今後見直す必要がある。5月末頃までに、全小学校で緊急の通学路の安全点検を行う。PTAや子どもたちを見守っている方々、団体から緊急点検をしてもらおうと共に、より有効な方法も検討していく。体制の整備や施策内容の検討は今後の課題と考えている。  
(委員の要望) 神奈川県藤沢市では、ホットスポットパトロールと言って、防犯のポイントを研修している事例があるので参考にしてほしい。

### 施策11-(1) 「効果的な指導を支援する施設設備の充実」

○ タブレット端末の他、ICTの各学校への導入についてはどのように考えているのか。

⇒ タブレット端末などICTの導入については、計画的に整備を進めていくと共に、併せてソフトの活用を図っていく。

### 施策12-(2) 「教職員への支援体制の充実」

○ 指標1は教職員の多忙を表していると思う。「平成29年度の取組」に学校閉庁日を取り入れられ、新聞でも教職員の多忙化解消の記事が掲載され、大変良い方向に向かっている。是非引き続きスピードを上げて、確かな成果を感じられるものにしてほしい。

⇒ 第2次多忙化解消行動計画の策定の過程で出勤管理システムを開発し、教職員の勤務実態を把握できるようになった。月当たり平均時間外勤務時間を45時間以下に設定し、年次有給休暇取得日数を14日以上と示している。また各校での多忙化解消の取組を、研修会やホームページ上で共有化できるようにしている。

※ 紙面の関係で、主な「質問・意見・要望」を記載しています。

新潟市教育ビジョン第3期実施計画 平成29年度 施策の点検と評価 (ダイジェスト版)

発行：新潟市教育委員会 教育総務課 教育政策室  
〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602番地1  
TEL 025-226-3177 FAX 025-230-0401 E-mail somu.ed@city.niigata.lg.jp

# 新潟市教育ビジョン

## 第3期実施計画～NEXT&NEW～

# 平成29年度 施策の点検と評価 (ダイジェスト版)



本編は、新潟市ホームページに掲載(「新潟市教育ビジョン」で検索)

<http://www.city.niigata.lg.jp/shisei/seisaku/seisaku/keikaku/kyoikuinkai/kyoikuivision/kyoikuivision.html>

## 平成30年9月

# 新潟市教育委員会

## 平成29年度 施策評価一覧

基本施策(13施策)	施策(54施策)		H29 施策評価(3期進捗)
	網掛…■は【NEXT】に該当する8施策	■は【NEW】に該当する12施策	
1 確かな学力の向上	1-(1) 社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進		4.3
	1-(2) 学び続ける資質・能力を育むキャリア教育の推進		4.0
	1-(3) 基礎・基本を身に付ける教育の推進		4.1
	1-(4) アグリ・スタディ・プログラムの推進		4.0
	1-(5) 学習習慣の定着		5.0
	1-(6) 読書活動の推進と新聞活用の充実		3.3
2 豊かな心と健やかな身体の育成	2-(1) いのちの教育・心の教育の推進		4.1
	2-(2) 一人一人の成長を促す生徒指導の推進		3.2
	2-(3) 体験活動・ボランティア活動の充実		3.5
	2-(4) 文化・芸術活動体験の推進		5.0
	2-(5) 体力づくりの推進		4.5
	2-(6) 健康づくりの推進		3.5
	2-(7) 食育の推進		2.8
	2-(8) 青少年の健全育成の推進		4.2
3 創造性に富み、世界と共に生きる力の育成	3-(1) 地域学習の充実		5.0
	3-(2) 外国語教育・国際理解教育の充実		4.5
	3-(3) 情報教育の充実とICTを活用した教育の取組		4.7
	3-(4) 主体的な取組を促す環境教育の推進		4.5
	3-(5) 海外帰国・外国人児童生徒への教育の推進		4.0
4 共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの推進	4-(1) 子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進		5.0
	4-(2) 特別支援教育のサポート体制の推進		5.0
	4-(3) 早期からの就学相談・支援の充実		5.0
	4-(4) 特別支援教育の推進		5.0
5 校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり	5-(1) 新潟市にふさわしい小中一貫した教育の取組		4.0
	5-(2) 幼児教育の充実と幼小連携の推進		4.0
6 人権を守り共に支え合う社会の推進	6-(1) 人権教育、同和教育の推進、男女平等教育の推進		4.6
	6-(2) 交流・体験活動の推進		4.0
7 家庭教育の充実と子育て支援	7-(1) 家庭教育充実への支援		4.3
	7-(2) 子育て支援の充実		4.0
8 生涯を通じて学び育つ学習機会の充実	8-(1) 主体的な学習を支えるシステムづくり		4.0
	8-(2) 学び育つ各世代への支援		4.3
	8-(3) 地域における生涯学習活動への支援		5.0
9 地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進	9-(1) 地域と共に歩む学校づくりの推進		4.5
	9-(2) 広報広聴活動の推進		4.0
	9-(3) 学校・地域・NPO等の協働の推進		4.5
	9-(4) 高等教育機関及び企業との連携推進		4.7
	9-(5) 子ども・保護者・地域住民の学校運営への参画		4.0
	9-(6) 市民の生涯学習施設運営への参画		4.5
10 学びのセーフティネットの構築に向けた取組の推進	10-(1) 防災・安全教育の充実		4.0
	10-(2) 保護者や地域と連携した安心な学校づくりの推進		4.0
	10-(3) 安全な学校施設		4.0
	10-(4) 学びを支援する体制の整備と充実		4.1
11 学校教育・生涯学習環境の基盤整備	11-(1) 効果的な指導を支援する施設設備の充実		4.0
	11-(2) コミュニティの拠点としての学校整備		4.0
	11-(3) 学校施設の整備		4.0
	11-(4) 生涯学習施設を核とした学習環境の整備		3.7
12 市民に信頼される教育関係職員の育成	12-(1) 教育関係職員の研修プログラムの充実		4.7
	12-(2) 教職員への支援体制の充実		2.7
	12-(3) 信頼される教職員の採用・登用・配置		4.0
	12-(4) 教育関係職員の人事管理の適正化		4.0
13 ニーズと課題に応える教育行政の創造	13-(1) 新潟らしい教育改革の推進		4.0
	13-(2) 効果的・効率的な執行体制の整備		4.0
	13-(3) 教育情報の収集と発信		4.0
	13-(4) 学校適正配置		4.0
	13-(5) 教育施策の管理と適切な評価		(4.0)

施策評価の総括	
施策評価の平均	4.17
全施策の平均	4.17
NEXT & NEW の平均	4.22
施策評価の分布	
施策評価5 (平均評価 5.0以上の施策数 ÷ 51 施策 × 100)	13.7%
施策評価4 (平均評価 4.0以上 5.0未満の施策数 ÷ 51 施策 × 100)	72.5%
施策評価3 (平均評価 3.0以上 4.0未満の施策数 ÷ 51 施策 × 100)	9.8%
施策評価2 (平均評価 2.0以上 3.0未満の施策数 ÷ 51 施策 × 100)	3.9%
施策評価1 (平均評価 1.0以上 2.0未満の施策数 ÷ 51 施策 × 100)	0.0%

新潟市教育ビジョン第3期実施計画平成29年度施策最終評価において、全施策の数値評価の平均は4.17、NEXT&NEWの平均は4.22となった。教育ビジョン全54施策のうち、数値評価できるものが51施策あるが、昨年度と比較すると次のように変わった。  
・指標を達成した施策(評価5と4)は45施策であり、昨年度より2施策増加し、割合も84.3%から86.3%に増加した。  
・目標を達成できなかった施策(評価3と2と1)は7施策であり、昨年度より2施策減少し、割合も15.7%から13.7%に減少した。また評価1の施策はなくなった。これらにより、13-(5)教育施策の管理と適切な評価における「3期進捗平均」は評価4となり、第3期実施計画において施策は着実に実施され成果を挙げていると判断できる。但し、目標を達成できなかった7施策については、今後、その状況の分析や平成30年度に向けた改善策が必要と考える。

学・社・民の融合による教育を推進します。

- 9-(1) 地域と共に歩む学校づくりの推進
主要事業 ・地域と学校パートナーシップ事業
・ふれあいスクール事業
・公民館出前型事業

H29施策評価 4.5

指標1 校あたり1の学校支援ボランティア(延べ人数)
I型 H26 H27 H28 H29 H30 H31
指標目標 1,210 1,240 1,270 1,640 1,670 1,700

後期実施計画の見直しを行ったうえで重点的に取り組む5つの方向

1-(4) アグリ・スタディ・プログラムの推進

指標1 アグリ・スタディ・プログラムに基づく体験学習の推進
I型 H26 H27 H28 H29 H30 H31
指標目標 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0

確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育む教育を進めます。

1-(1) 社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進

- 主要事業 ・持続可能な開発のための教育(ESD)推進活動
・「アクティブ・ラーニング」による教育活動の推進
・フューチャースクール学習支援事業

H29施策評価 4.3

指標1 ESDを授業の教育活動に位置付けている学校の割合(%)
I型 H26 H27 H28 H29 H30 H31
指標目標 20.0 50.0 75.0 85.0 85.0 85.0

2-(2) 一人一人の成長を促す生徒指導の推進

- 主要事業 ・いじめ対策等生徒指導推進事業
・教育相談ネットワーク事業
・カンセツ等活用事業

H29施策評価 3.2

指標1 新都市生活・学習意識調査(小6)で「外国語活動の勉強が好き」と回答した児童の割合(%)
I型 H26 H27 H28 H29 H30 H31
指標目標 74.5 75.0 75.0 82.0 80.0 80.0

1-(3) 基礎・基本を身に付ける教育の推進

- 主要事業 ・国語A
・国語B
・算数数学A
・算数数学B

H29施策評価 4.1

指標1 国語A
I型 H26 H27 H28 H29 H30 H31
指標目標 70.7 68.5 63.5 106.4 104.0 104.0

子どもの読書活動を推進するとともに、市民が自ら課題解決を図るための読書環境を充実していきます。

1-(6) 読書活動の推進と新聞活用の充実

- 主要事業 ・学校図書活用推進事業
・学校図書館支援センター事業
・学校図書支援事業
・新聞活用の推進

H29施策評価 3.3

指標1 各研究協議会を活用した授業を月に複数回行った小学校の割合(%)
I型 H26 H27 H28 H29 H30 H31
指標目標 77.7 75.6 46.8 74.7 82.0 82.0

目指す子どもの姿・市民の姿

- 学力・体力に自信をもち、世界と共に生きる心豊かな子ども
●生涯を通じて学び育つ、創造力と人間力あふれる新潟市民

学・社・民の融合による教育の推進

子育てや各世代の学びに対する支援に努め、地域の教育力向上を推進します。

- 8-(2) 学び育つ各世代への支援
主要事業 ・にいがた市民大学開設事業
・現代の講座を学ぶ公民館事業
・学習成果を発表する場の提供
・子どもが読書に親しむ機会の充実
・仕事やくらしの課題解決のための情報提供事業

H29施策評価 4.3

指標1 にいがた市民大学の受講率(%)
I型 H26 H27 H28 H29 H30 H31
指標目標 84.5 92.5 95.0 95.0 95.0 95.0

市民から信頼される学校・教育機関となるよう、人材の育成と職場の環境整備を進めます。

12-(1) 教育関係職員の研修プログラムの充実

- 主要事業 ・平成29年度学校図書活用推進実践報告会を2回行った。報告会を区ごとに行うこと、説明会と報告会に管理職も参加することによって、全校体制で「学校図書館を活用した実践」が多くなり、あわせて中学校での実践も広がった。

H29施策評価 4.7

指標1 各研究協議会における受講者の満足度と活力度(%)
I型 H26 H27 H28 H29 H30 H31
指標目標 80.0 87.0 87.5 88.1 82.0 82.0

目指す子どもの姿・市民の姿

- 世界とともに生き創造性を発揮する新潟の子どもや市民の育成を目指し、コミュニケーション能力向上とICT活用への取組を進めます。

新たな視点で取り組む具体的な5つの項目

3-(2) 外国語教育・国際理解教育の充実

- 主要事業 ・外国語指導助手(ALT)配置事業
・国際交流推進事業
・外国語教育支援事業

H29施策評価 4.5

指標1 新潟市生活・学習意識調査(小6)で「外国語活動の勉強が好き」と回答した児童の割合(%)
I型 H26 H27 H28 H29 H30 H31
指標目標 74.5 75.0 75.0 82.0 80.0 80.0

5-(2) 幼児教育の充実と幼児小連携の推進

- 主要事業 ・幼児小連携推進事業
・幼児小合同研修会

H29施策評価 4.0

指標1 幼児・保育園との連携の充実を図り、小学校への円滑な接続を図るための教育相談会を実施した小学校の割合(%)
I型 H26 H27 H28 H29 H30 H31
指標目標 10.0 95.0 100.0 100.0 100.0 100.0

目指す子どもの姿・市民の姿

- 新たな視点で取り組む具体的な5つの項目
1: 指標を大きく下回った(達成率 75%未満(125%未満))

世界とともに生き創造性を発揮する新潟の子どもや市民の育成を目指し、コミュニケーション能力向上とICT活用への取組を進めます。

3-(3) 情報教育の充実とICTを活用した教育の取組

- 主要事業 ・タブレット等ICT活用研修(教職員研修)

H29施策評価 4.7

指標1 コンピュータ等(タブレットPCを含む)情報通信技術を用いた子どもが学ぶひびく学習や課題解決型学習指導を実施した小学校の割合(%)
I型 H26 H27 H28 H29 H30 H31
指標目標 65.7 66.6 66.6 70.0 90.0 70.0

9-(4) 高等教育機関及び企業との連携推進

- 主要事業 ・高等教育機関活用推進事業
・図書館と教育機関・企業との連携・協力

H29施策評価 4.7

指標1 高等教育機関からの専門的な情報提供、指導等を受けている教職員の割合(%)
I型 H26 H27 H28 H29 H30 H31
指標目標 1 2 3 3 4 4

指標2 にいがた市民大学の受講率(%)
I型 H26 H27 H28 H29 H30 H31
指標目標 84.5 92.5 95.0 95.0 95.0 95.0

指標3 連携・協力の実施状況(連携事業数(件))
I型 H26 H27 H28 H29 H30 H31
指標目標 9 9 9 9 9 9

指標4 公民館出前型事業の実施数(校)
I型 H26 H27 H28 H29 H30 H31
指標目標 66 67 94 103 103 103

指標5 公民館出前型事業の実施数(校)
I型 H26 H27 H28 H29 H30 H31
指標目標 66 67 94 103 103 103

4-(1) 子ども一人一人のニーズに対応した特別支援教育の推進

- 主要事業 ・インクルーシブ教育システム構築の推進事業

H29施策評価 5.0

指標1 各年度内特別支援教育に関する公的研修を受講した教員(幼・小・中・高)
I型 H26 H27 H28 H29 H30 H31
指標目標 1,500 1,616 1,585 1,749 1,500 1,500

4-(3) 早期からの就学相談・支援の充実

- 主要事業 ・早期からの就学相談の推進

H29施策評価 5.0

指標1 入学支援ファイルの活用件数(年度ごとの数)
I型 H26 H27 H28 H29 H30 H31
指標目標 300 350 310 350 350 350

ニーズと課題に迅速に対応できる教育行政のシステムづくりと学びのセーフティネットの整備を進めます。

10-(1) 防災・安全教育の充実

- 主要事業 ・防災教育学校・地域連携事業(あふると新潟防災教育推進事業)

H29施策評価 4.0

指標1 「防災教育」学校・地域連携事業指定校数(校・累計)
I型 H26 H27 H28 H29 H30 H31
指標目標 8 34 69 102 136 136

10-(4) 学びを支援する体制の整備と充実

- 主要事業 ・就学援助事業
・奨学金貸付事業
・社会人奨学金貸付事業

H29施策評価 4.1

指標1 就学援助制度の保護者への周知率(%)
I型 H26 H27 H28 H29 H30 H31
指標目標 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0

13-(1) 新潟らしい教育改革の推進

- 主要事業 ・区教育ミーティングの開催
・中学校区教育ミーティングの開催

H29施策評価 4.0

指標1 区教育ミーティングの開催(回)
I型 H26 H27 H28 H29 H30 H31
指標目標 16 16 16 16 16 16